

## 令和3年度の教育活動等に対する学校評価書

幼稚園教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●未来に伸びゆくから 体験活動を豊富にさせ、子どもの持っている能力に期待し大きく育てる</li> <li>●心とからだの健康 豊かな感性を養うと共に健康な身体を育み育てる</li> <li>●地域の実態に即応した教育をめざして 家庭が子どもによせる期待感や願いを保育に生かし育み育てる</li> </ul>
基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●みんなと仲良くできる子(豊かな人間)</li> <li>●自分のことは自分でできる子(自主・自立の育成)</li> <li>●考えたり工夫できる子(能力の育成・特性の伸長)</li> <li>●ものごとに感謝できる子(情緒の発達)</li> <li>●元気よく遊べる子(健康)</li> </ul>

分野	評価項目	自己評価		外部評価	
		評価	反省と改善策	評価	意見
園運営	保育活動や園行事へ保護者や地域の人々の参加が図られている	B	コロナ禍により制限された中だが、対策を行いながら各行事への保護者参加が出来た事は良かった。今後は、近隣の方々への情報発信や交流の図れる場もつくっていくと良い。HPや連絡アプリを活用し、日々の子どもたちの様子を家庭と共有できている。防犯訓練への意識は高まっているが、家庭との連携した訓練も行っていくと良い。	B	イベントも感染症対策を施し開催していただけたので、子どもたちの成長を確認することができた。HPやアプリで情報を発信されていることは子どもたちの園生活を知るうえで大変役立っている。入園を検討している保護者にとっても貴重な情報源であるので、HPの充実は大変良いと思う。
	家庭や地域へ適切に情報を発信している(HPや学校との連携等)	A		A	
	家庭と連携した防災・防犯・交通安全等の安全教育や訓練が行われている	B		B	
教師の努力目標	一人ひとりを見つめ、愛情を持ってより確かな教育を目指す	B	子どもたちが今何をしたいのか、どういう経験が必要なのかをしっかりと把握する。やりたい事に向かって、自ら考え行動できるような、子ども達主体の保育をしていく。園全体・個人の保育の資質向上の為に、研修などへの参加を積極的に行っていく事が必要である。	B	季節の行事などを大切に、子どもの感受性を育む指導をして下さっている。また、子ども達が自分で考えて行動できるようにサポートしていただいている。学年、クラスに関係なく、一人ひとりの園児と向き合っって保育をして下さっているの、安心して預けることができる。
	豊かな心と、よりたくましい人間性を育てるために努める	B		B	
	豊かな感受性を持つ	B		B	
	子どもの立場にたって、子どもと話したり遊ぶことができる	B		A	
	やさしさ、きびしさ、はげましのある教育に努める	B		A	
	積極的に遊びに参加し、元気に遊ぶ	A		A	
園児の具体目標	集団生活に慣れ、ルールを守り基本的な生活習慣を身につける	B	子ども達同士の仲が、行事や日頃の生活の中で深まり、自然と相手の立場になって考えることが出来るようになっていた。コロナの影響で通常とは異なることもあったが、どの子ども項目にあるように成長していると感じる。ただ、個人差があることは確かなので、終着点は同じではなく、一人ひとりに合った伸びをみていくべきだと考えるが、それについても、今年は思うように進めることが出来た。	A	子ども達の意見を聞きながら、小さなイベントを保育に取り入れていただいているので、楽しい日常を送ることができている。縦割り保育が充実しているため、譲ってあげたり、優しい言葉をかけたりと、上の学年が下の学年の子ども達へ、自然と手を差し伸べられている。自然の移りかわりを感じられる園庭で、季節ごとの発見を子ども同士で分かち合ったり、行事の中で、豊かな心を育むことができている。
	どんなことも、さいごまでやり遂げ、みんなで達成感をあじわう	B		B	
	集団での遊びに喜びを感じ、安全に遊ぶ	B		A	
	思いやりのある心、命の大切さを知る	B		B	
	さまざまな経験をし、豊かな心を持っている	B		A	
	教師、友だちらと感動を常に共感している	A		A	

A: 良くできている B: できている C: あまりできていない D: できていない

## 財務状況

公認会計士監査により、計算書類は、学校法人会計基準(昭和46年文部省令第18号)に準じて、令和3年度の経営状況及び財政状況の全てにおいての重要な点において適正に表示していると認められている。